

一、第十二回全國大會開催に關する件
 第二回、中央委員會の決定は、種々の事情から實行不可能であるから、左の如く開催すること。

日時—一九三三年三月三日

場所—福岡市

一切の準備は中央委員會一任。

以上

2、機關紙部

機關紙「水平新聞」の經營は許され難いまでに不良な成績を示してゐる。一九三二年度に發行されたのは僅かに次の三回に過ぎない。しかもそのうちの一回は謄寫版印刷によるほかなかつた。

第十四號（二月二十七日附）

第十五號（六月 四日附）

第十六號（七月 三日附）—発表—

新聞の配布網及び通信網は全く組織されておらず、紙代の収入は全然見込みがない。

3、財政部

財政部の確立は屢々諸種の會議において問題にされたが、依然として實現するに至つてゐない。現在では全く松本治一郎氏個人の經濟的支持に依つて總本部が維持されてゐる状態である。各支部からの維持費の納入はない。

4、組織部

(イ) 支部数

正確なる数字はもとより得難いが全國的に大体支部数に増減はない。だが、九州と岡山の二つの聯合會は闘争を通じて二三の支部を組織した。

(ロ) 失業委員會